

「自然学校を考える」あなたの声を聞かせてください!!

自然学校の見直しを求める全教職員対象アンケートにご協力下さい

豊かな自然の中で、普段の学校生活では味わえない体験活動を行うことは大変重要な側面を持つことは言うまでもありません。しかし、兵庫県で実施されている自然学校は、4泊5日以上という期間の限定があり、日程や実施場所も決められる地域もあるなど、教育課程の編成をゆがめ、各学校の教育活動そのものに大きな影響を及ぼしています。特別支援等個別の配慮の必要な児童は計画の段階から全日程参加できないことが前提になることもあるなど、教育的にも大きな問題です。引率する教職員の過重労働も大きな問題です。勤務は2泊3日交代が原則になっていますが、4泊5日全期間勤務した教職員が少なくありません。また、超過勤務についての割振り変更も長期休業中に変更せざるを得なかった教職員が多く、全く変更できていないという教職員もいます。これらのことから、兵庫教組は「実施日数については4泊5日と限定することなく、各学校の判断を尊重するよう見直しを行うこと」と兵庫県教育委員会に申し入れを行い、見直しを求めています。このとりくみをさらに推し進めるために、もっと多くの教職員の声を集めようと全教職員対象のアンケートにとりくみます。アンケートの設問は3つです。すぐに答えられる内容ですので、ぜひご協力ください。

※アンケートは用紙に記入して最寄りの全教組合員に渡してもらうか、表面のQRコードからも可能です。

自然学校の見直し求める全教職員対象アンケート

「自然学校を考える」
あなたの声を聞かせてください!!

意見募集

豊かな自然の中で、普段の学校生活では味わえない体験活動を行うことは、教育活動として大変重要な側面をもつことは言うまでもありません。兵庫教組が昨年7月から8月にかけて行った「自然学校実施アンケート」から、その実施の実態に大きな問題が見えてきました。

なぜ4泊5日
なぜ、4泊5日以上でないといけないの？
「4泊5日以上」という期間の限定は、日程や実施場所の強制につながります。

全員参加可能？
自然学校に行けない子はいるの？
特別支援等をはじめ、個別の配慮が必要な子は、計画の段階から、全日程に参加できないこともあります。

勤務方法の負担
教職員の働き方はこれでいいの？
4泊5日全期間勤務した教職員が少なくありません。また、割振り変更も長期休業中に変更せざるを得なかった教職員が多く、全く変更できていない教職員もいます。

校長会・教委會から
校長先生や教育委員会も組織の形態の戸があるというの...
日程短縮の希望は教職員だけでなく、校長会や市町教育委員会からも聞こえてきます。

兵庫教職員組合(全教)
神戸市中央区北長狭通5丁目2-10
TEL: 078-367-3602
FAX: 078-367-3617
Email: hyougo-06@pure.ne.jp

兵庫教組は、これらの声を受けて、次の項目を兵庫県教育委員会に申し入れをし、自然学校の「実施日数等」の見直しを求めています。

1. 「自然学校」の実施日数については「4泊5日以上」と限定することなく、各学校の判断を尊重するよう見直しを行うこと。

県下各地の教職員の声をより多く集めることで、県教委に強く働きかけたいと思います。
「実施日数等」の今後のあり方、自然学校で困ったことなどに關して、裏面に掲載しているアンケートに、ぜひご協力ください。あなたの声が大きな力になります。

アンケートは、コナラのQRコードからも可能です。

県教委が実施した各学校へのアンケートでも「自然学校4泊5日は意義がある」とする一方でこんな声も...

- 子どもの精神面や体力的な負担、教職員の働き方改革の観点から、2泊3日の実施が望ましい。
- 同じ県下の市町でも、公立小学校の状況は様ではない。宿泊日数については、各市町がそれぞれの実情に応じて主体的に決定できるような柔軟な対応をお願いしたい。
- 教職員の働き方改革、子どもたちの不安感、アレルギー対応が必要な子どもの増加等、課題が山積する中、4泊5日は持続可能な活動になり得ない。

お答えいただく方について

勤務地の市町名をお書きください

市・町

設問1. 自然学校のあり方について

県教委は、自然学校を今後も4泊5日で継続しようとしていますが、それについてあなたはどのようにお考えですか。※複数回答可

- ① 【神戸市以外の方】今のまま、4泊5日でよい 【神戸市の方】期間を4泊5日にもどしてほしい
- ② 【神戸市以外の方】期間を短縮してほしい(3泊4日) 【神戸市の方】期間を延長してほしい(3泊4日)
- ③ 【神戸市以外の方】期間を短縮してほしい(2泊3日) 【神戸市の方】今のまま、2泊3日でよい
- ④ 期間を短縮してほしい(1泊2日)
- ⑤ 自然学校は中止してほしい
- ⑥ 自然学校の期間や内容は学校の判断を尊重してほしい
- ⑦ その他 (具体的に)

1

設問2. 自然学校を実施する上で困ることについて

自然学校を実施する上で困ることはどんなことですか。※複数回答可

- ① 自然学校の実施計画の作成
- ② 指導補助員や特別支援補助員の確保
- ③ 送迎バスの確保
- ④ 外部との渉外
- ⑤ 自然学校の予算計画の作成
- ⑥ アレルギー・健康面のアンケート調査とその整理
- ⑦ 期間が長いので、児童のメンタル面のフォロー
- ⑧ 期間が長いので、児童の健康面の配慮・家庭との連絡
- ⑨ 児童の食物アレルギー対応
- ⑩ 児童の夜間の指導(夜尿症対策対応等)
- ⑪ 自然学校期間中の校内の体制
- ⑫ 実施後の会計業務
- ⑬ 実施後の報告文書の作成
- ⑭ 慢性的に超過勤務状況になっている
- ⑮ 超過勤務の割振り変更がとれない
- ⑯ その他、上記以外にあれば自由にお答えください

2

設問3. 自然学校についてのあなたの思い

自然学校に対するあなたの思いや変えてほしいことなど、ご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

実施日数は4泊5日と限定することなく、各学校の判断を尊重するよう見直しを行うこと!!